

週末の隠れ家でくつろぐ「おやじ」3人衆(笑)。左がオーナー・長谷川誠一さん、右が友人の玉井昇さん、中央がガレージをコーディネートしたNEW STYLE GARAGEの高谷克実さん。

新工法の 木製キットガレージ

山梨県 長谷川邸

これまで木製キットガレージというと、2×4工法が主流だった。そんな中、ボスト&ビーム工法のキットガレージが、徐々に注目を集め出している。そんなニューススタイル、その名も“おやじの隠れ家”を紹介しよう!

text/Yuji-OHISHI(大石裕二) photo/Masayuki-YOSHIMI(吉見雅幸)

New Style Garage

正味2日でできた木製ガレージ。
シンプルな構造に、短工期。
明瞭なお手頃価格も二重マル!

1





リビングスペースを併設したキットガレージが「おやじの隠れ家」。愛車にここまで近い距離感がたまらない。右ハンドル車の場合、レイアウトを逆にすることももちろん可能。

NewStyleGarage

新工法の木製キットガレージ

カンタン施工、レイアウト変更もしやすい!

普段は東京都内にお住まいの長谷川誠一さん。自宅には自分の趣味のスペースがなかったため、かねてより趣味のセカンドハウスがほしいと考えていた。建てるなら、お気に入りの富士五湖の近くがいい。そう思って土地を探したら、意外と安い。100坪を超える広さでも小型車1台分程度だったのだ。そこでついに、セカンドハウス計画がスタート!

最初はトレーラーハウスを置こうと考えていたが、管理組合にだめだといわれ、あらためてキットガレージを探すことになった。色々と比較検討した中で、注目したのが『おやじの隠れ家』。これ、れっきとした商品名である。そこそこのクオリティがありながら、価格も手ごろ。価格の表記自体が明瞭

で、いくらかかる? というのがはっきりしている。「でも、決め手になったのは、高谷さん的人柄ですよ。色々と親身になって対応してくれたし、『買ってください』ってことを言わないんですから(笑)。この人なら大丈夫だと思いました」と長谷川さん。高谷さんというのには、"NEW STYLE GARAGE" (ニュースタイルガレージ) の高谷克実さんのこと。『おやじの隠れ家』は佐賀県にある株式会社フレックス唐津が開発した商品だが、東日本エリアでは "NEW STYLE GARAGE" が窓口となり、コーディネートを行っている。

この長谷川ガレージは、『おやじの隠れ家』の"Bタイプ(6060ロング仕様)"で、間口と奥行きが約6m。その中にもはやクラシックの味わいがあ



気軽に過ごす板の間リビング。アメリカ車やアメリカのアイテム、洋服などが大好きな長谷川さん。この隠れ家に趣味のものを集結させて大満足。

左／厚さ3cmの杉板にこのようにかみ合うはぞが彫られていて、外壁を隙間なくしっかりと組むことが出来る。また床板にも同じものが使われていて、コスドウが図られている。右／板の間リビングの下、土台は角材を固定せずに設置し、その上に外壁と同じ杉板を載せてつくる。なので、後々自分でレイアウト変更が手軽にできる。



幅約6m、奥行き約6mの空間に、ガレージ、リビング、ロフトをコンパクトに設置。最低限にして、しかし十分な男の空間だ。中央の柱は円形の巻き柱になっているのもこだわり。



最新 ガレージ事情
Style Garage

ロフトは、梁と梁の間に板を敷き渡して設置。その枚数や敷き方でサイズ変更もできる。高さはどうしても頭が当たるが、基本座って過ごす空間なので、さして問題はない。



という、クルマ好きには「もうこれだけで十分!」と言わせるレイアウトだ。この板の間だが、実は固定されていない木の土台に板を敷いた構成。ロフトも板を敷いただけの構造だ。これはつまり、工事費用が安く上がるとともに、後々自分で好きなようにレイアウト変更することもできるということ。DIYする場合も大きなメリットだ。

さらに、このガレージの構造 자체が非常にシンプルだ。柱を立て、その間に木の板を落とし込み、積み重ねていくというポスト&ビーム工法。昔の言い方で言えば"あぜくら造"である。この施工は2×4工法よりも簡単といえそうだ。だからDIYも手軽にできるだろう。この長谷川ガレージはプロが施工を行ったのだが、実質2日で外壁の塗装まで終えている。そのため工事費用も安く抑えができるのである。

このようにして、非常にスムーズにガレージを完成させた長谷川さん。もともと細かいことは考えずに、のんびりリラックスする場としたかったので、この手軽さは非常にうれしかったという。『こういう「おやじの逃げ場」——じゃない(笑)、「隠れ家」ってみんな必要だと思いますよ。その気になれば案外手軽にもてたりします。バイクに乗る息子もぶらりとやってきたりして、男同士、趣味の時間を楽しんでいます』と長谷川さん。

日常の暮らしや仕事といった煩わしさから離れ、自分だけの時間を満喫する"隠れ家"。実現させるなら、今でしょ!

Garage Proses



すでにコンクリートの基礎が出来ているところに、足場が準備された。キットも到着して、いよいよ組み立て開始。



立ち上がり基礎の上に土台を置き、そこに柱を立てていく。加工済みキットなので、はぞを合わせていくだけだ。



上下に凹凸がついた杉板の外壁を、柱の間に落とし込むようにして組んでいく。壁はこの外壁1枚の構造。



外壁は2×4のようにパネルを立てるのではなく、板を積み重ねていく。基本的にすべての外壁がこのような構造になる。



1階外壁が出来たら梁を載せる。室内にアラワシとなる柱は円形の廻り柱として、見た目にこだわっている。



梁の上に、ロフト、屋根になるものを組んでいく。切り妻屋根だが、左右で長さが異なる仕上がりになる。



こちらは大きい方の屋根。壁に使っているのと同じ杉板を使用、材料のワンメイク化が低価格実現の秘訣だという。



前の写真の板の上に断熱材を設置。外壁は1枚で断熱材はないが、雨が当たる騒音などの点からも屋根には必要となってくる。



室内では、板の間を設置する準備が始まっている。ガラスはすべてペアガラスが標準で使われる。



屋根に防水シートを敷き、アスファルトシングルを打って仕上げていく。この屋根材はけっこう重く、DIYでは苦労する部分。



最後に、遮光性の塗料・キシラデコールを塗って仕上げる。完成引き渡し価格にはこの塗料代まで含まれている。



手動シャッターを設置して完成。この長谷川ガレージの場合、シャッターの中にフォールディングドアをオプションで設置している。

DATA	
所在地	●山梨県
施工主	●長谷川誠一さん
竣工年	●2012年
構造	●木造ポスト&ビーム工法
ガレージ面積	●約32.8m ²
愛車	●'84年式メルセデス・ベンツ380SL '95年式メルセデス・ベンツE3.6 AMG '05年式アウディA4、カワサキZ1ほか

『おやじの隠れ家』は、キット販売、完成引渡し販売、両方に応じている。基本となる27.3m²+ロフトのAタイプの場合、キット価格は238万円。運送費、基礎施工などを別にすれば、本体はこれ以外はかかるない。完成引渡しの場合には368万円。これには、基礎工事、建築確認申請、塗装なども含まれている。32.8m²+ロフトのBタイプの場合、キット価格288万円、完成価格438万円。ここで紹介している長谷

川ガレージはBタイプだが、OPでフォールディングドアを追加している。また、電気工事、準防火対応、サイズ変更なども別料金だが対応可能だ。

上の施工過程をみてもわかるだろうが、組み立てはさほど難しくなく、DIYも十分可能。プロが行った今回の場合は、正味2日で完成している(基礎は除いて)。それもまた、価格を抑えることに貢献しているのだ。



長谷川さんの希望でフォールディングドアを特別装備。防犯を考えてシャッターを二重設置した。そのほか、オーバードアなども施工可能だという。

New Style Garage

■一番気に入っているところは?
木製ガレージというところ。木が好きなんです。
価格に対して質感もいいですね。イメージしてた
よりもいいです。

■ちょっと失敗したところは?
特になし。

■次の夢はなんですか?
隣の土地に、住める家を建てたいですね。ゆく
ゆくはこちらに移ってきてたいです。

■読者へアドバイスを!
とりあえず建ててみることだと思います。やって
みなければ何も始まらないと思いますね。色々迷
うこともあるでしょうが、自分の直感を信じて。私
もそうでしたよ。

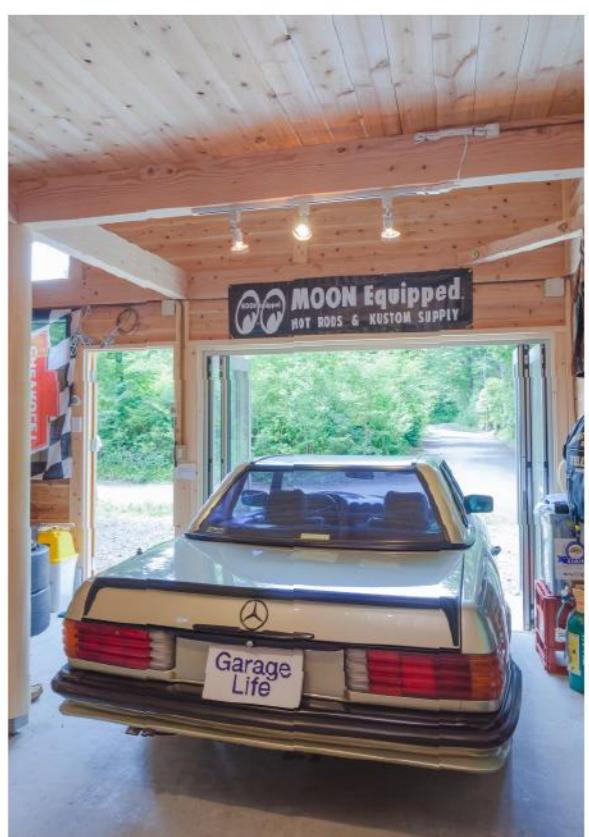
『おやじの隠れ家』
発売元・施工: 株式会社フレックス鹿児
phone/0955-74-5500
<http://www.flex-k.co.jp>



NEW STYLE GARAGE
高谷克実さん

「結露しない木製ガレージ」、「ハイオリティ&ローコスト」という『おやじの隠れ家』のコンセプトを施工様に気に入ってくれていただき、トントン拍子に話が進みました。オプションは全開放サッシとペアガラス、シャッター付サッシのみで、ほぼスタンダードの仕様です。建物本体はすべてキット化しているので材料の無駄がなく、組み立て工事も2日間で完了し建築費用を圧縮することが出来ました。施工である長谷川様とはガレージハウス引き渡し後もフレンドリーなお付き合いをさせていただいている。

神奈川県横浜市都筑区東山田4-5-3-515
phone/045-592-2920
<http://www.ns-garage.jp>



大型のアメ車も入るガレージスペース。上品なグリーンの愛車'84年式380SLは、間口は約6mある個体なのだ。愛車を照らすレール式のスポットライトは自分で設置した。